

「SOMPO サステナビリティ・インデックス」の構成銘柄に選定されました

イオンモール株式会社(本社:千葉県千葉市、社長:岩村康次)は、このたびSOMPOアセットマネジメントが独自に設定する「SOMPOサステナビリティ・インデックス」の構成銘柄に選定されました。同インデックスは、同社の「SOMPOサステナブル運用」に活用されます。



「SOMPOサステナブル運用」は、2012年8月に、SOMPOアセットマネジメント株式会社が運用を開始したESG(環境、社会、ガバナンス)にフォーカスした運用プロダクトです。ESGに優れる約300銘柄から構成される独自のアクティブ・インデックス「SOMPOサステナビリティ・インデックス」に追随するポートフォリオを構築し、バイ・アンド・ホールドによる長期投資を志向しています。なお、同プロダクトは、複数の年金基金・機関投資家に採用されています。

同インデックスの採用銘柄は、調査会社によるESG評価結果(※1)に基づき毎年見直しが行われており、当社はESGに対する取り組みが高く評価され、選定に至りました。

イオングループでは、持続可能な社会の発展に向けたグループ全体の方針である「イオン サステナビリティ基本方針」のもと、環境面では、「脱炭素社会の実現」、「生物多様性の保全」、「資源循環の促進」、社会面では、「社会の期待に応える商品・店舗づくり」、「人権を尊重した公正な事業活動の実践」、「コミュニティとの協働」を重点課題に設定し、各課題への対応を進めることで、サステナブル経営を推進しています。

当社は、「お客さま第一」を基本理念として、『イオンモールは、地域とともに「暮らしの未来」をつくるLife Design Developer(※2)』を経営理念と定めています。

この経営理念に基づき、環境、社会、ガバナンスへの配慮に係る取り組みを推進し、ローカライゼーションの視点に基づいたエリアごとに個性あるモールづくりを国内外で推し進めることにより、人々のライフスタイルの向上と地域社会の発展に貢献することを指針としています。

引き続き、こうした事業展開により、収益と企業価値の拡大を図り、経営基盤を強化し、さらなる発展をめざしてまいります。

※1. SOMPOリスクマネジメント株式会社が実施する「ぶなの森 環境アンケート」および株式会社インテグレックスが実施する「インテグレックス調査」に基づく評価結果。

※2. Life Designとは、商業施設の枠組みを越えて、一人ひとりのライフステージを見据えたさまざまな機能拡充を行い、ショッピングだけでなく、人との出逢いや文化育成なども含めた「暮らしの未来」をデザインすることと定義しています。

■当社のサステナビリティに関する取組み事例や事業活動について

ホームページアドレス: <https://www.aeonmall.com/>

CSR・環境活動: <https://www.aeonmall.com/csr/>

インベスター・リレーションズ(IR): <https://www.aeonmall.com/ir/>

■SOMPO サステナブル運用について

<https://www.sompo-am.co.jp/institutional/product/06/>